



一人1台のタブレット型パソコンを活用した 令和の時代の学校教育 ～Society5.0を生き抜く昭島っ子たちのために～



Society5.0とは

人工知能（AI）等の技術の急速な進展に伴い、これらの先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが現在とは劇的に変わる時代のことです。



Society5.0時代を生きる子どもたちにとって、ICT機器は鉛筆やノート等の文房具と同様に不可欠なものとなります。一人1台のタブレット型パソコンは、令和の時代における学校の「スタンダード」です！
文部科学省「GIGAスクール構想」の推進により、子どもたち一人一人の多様な学習状況や興味・関心に応じて学ぶことができる教育環境が実現します！

一人1台のタブレット型パソコンで このような授業を目指します！

一斉学習



画像の拡大・縮小や音声、動画の活用等により、分かりやすく説明することで、子どもたちの興味・関心を高めることができます。

個別学習



自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが可能になります。また、教師が一人一人の学習履歴を把握することができます。このことにより、一人一人の習熟の程度に応じた学習が可能となります。

協働学習



交流学习において子ども同士による意見交換、発表などお互いを高め合う学びを通じて、思考力、判断力、表現力等を育成することが可能となります。

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの
視点からの授業づくり

昭島市教育委員会